

雪 と 岩見沢

昭和58年11月25日、岩見沢市との共催により岩見沢市民会館において、当市でははじめての講演会を開催した。

講演会は当地の市民へ学会の研究活動やその成果を紹介、普及することと同時に、その地方の地域的特性に関係する研究分野を開拓するうえにおいて意義あることと考えられる。岩見沢市は豪雪地として知られ、市民と雪とのかかわりは特に深く、降積雪の同題は住民にとって強い関心事である。今回は当市におけるはじめての講演会ということからテーマは一般的ではあるが当地の雪に関する地域的特徴を市民とともに明らかにすることに視点を置いた。

講演会は堀利幸氏（岩見沢市役所総務部企画室長）の総合司会により進められ、話題提供は、積雪の基本的な性質及び分類とそれに基づいた北海道内の積雪の地域的特性とその比較研究の結果について、「岩見沢地方に降り積った雪」と題して北海道大学低温科学研究所の遠藤八十一氏より詳細に報告され、岩見沢地方の積雪に関して有益な知見を得ることができた。

また、北海道開発局土木試験所の竹内政夫氏の「道路における雪対策について」の講演においては、開通した道央高速道路札幌—岩見沢線に関する雪対策の具体例をはじめ、国内外の雪害対策に関して豊富な話題を提供していただいた。

参加者は一般市民のほか、市の教育文化関係者、直接市の除排雪に関係している会社の担当者等、吹雪まじりの悪天候にもかかわらず100名以上に達し、講演後の質疑討論においても活発な意見交換があり、盛況のうちに閉会することができた。

今回、岩見沢市において講演会を成功裡に行なうことができたのは、多忙な中から貴重な話題を提供していただいた両講師をはじめとして、テーマの設定から各団体への案内、宣伝そして会場の設営に至るまで多くの御協力をいただいた岩見沢市、空知支庁、の皆様方他多くの方々の御援助によるものであり、ここに深く感謝の意を表します。

（油川 英明）